

いじめの早期発見対策（どの学校でも、どの子にも起こり得る問題）

（資料3）

学校でのいじめのサイン

- ・ 急に遅刻が多くなる。早退が増える。
- ・ 授業開始前に机、椅子、カバンなどが散乱している。
- ・ 授業開始前に学用品、教科書、体操服等が隠されている。
- ・ 学用品の破損。ノートに落書きがある。
- ・ 日頃交際していない友達数人と遅れて教室に入ってくる。
- ・ 授業中、誤答に対して皮肉、笑い声が繰り返し起こる、あるいは正解に対するどよめきが起こる。
- ・ 先生から注意された子どもに、クラスの視線が集中する。
- ・ ニックネーム・コールがある。
- ・ その子どもの隣に誰も座りたがらない。
- ・ 一人の子どもの発言に大多数の子どもが反対することが多い。
- ・ 休み時間、清掃の時間などに一人で黙々としている。
- ・ 休み時間などに特別用事もないのに職員室や保健室に出入りし、時間を過ごす。
- ・ 理由の分からない怪我が多い。衣服が汚れ、足跡がついている。
- ・ 美術、書道の授業の後、衣服に絵の具や墨がたくさんついている。
- ・ 黒板や机等に、ニックネームや「○○死ね」などの落書きをされる。

子供の実態把握の方法

- 1 生活状況調査（いじめアンケート調査）
- 2 個人面談
- 3 日常観察
- 4 日記
- 5 心理テスト

※ いじめの対象（被害者）になりやすい子の特徴

- ・ 自己主張のできにくい子
- ・ 身体的・性格的・行動的に集団とは異なる側面をもっている子
- ・ 失敗経験の多い子
- ・ プラスの評価を受けてきたまじめな子
- ・ 正義感の強い子も対象となる。

※ いじめる立場（加害者）になりやすい子の特徴

- ・ 情緒が不安定で、相手のことを考えず、自分の考えや感情のまま行動する。
- ・ 相手との力関係に敏感で、自分より力のある者には弱く、無力な相手には強い。
- ・ 家庭は放任・過保護・管理的であることが多く、真のぬくもりが足りない。
- ・ 自己を発揮できる生活の場を見出せず、不満を鬱積させている。

教師が、豊かな感性で、日ごろから子どもの観察、理解に努める

情報のキャッチ

教職員の共通理解・協力体制のもと、日頃から情報交換を行う

家庭・地域との連絡を密にし、情報交換に努める

教師間の情報交換

- ・ 日々の情報交換
- ・ 職員朝礼での「子どもの行動報告」
- ・ 学年会での情報交換・事例研究
- ・ 生徒指導部会での情報交換・事例研究
- ・ 保健室からの情報
- ・ 部活動の顧問からの情報（中学）
- ・ クラブ活動からの情報（小学）

※ 「いじめ」と「けんか」「ふざけ」を混同しない。

「けんか」 … 原因が明確で、勝ち負けが決まれば必要以上に攻撃しない。

「ふざけ」 … 対等な関係で、役割の交代がある。

※ 「けんか」や「ふざけ」として見逃さない。

家庭でのいじめのサイン

- ・ 学校へ行きたがらない。
- ・ 機嫌が悪い。
- ・ 転校したいと言う。
- ・ 先生と友達を批判する。
- ・ 喜怒哀楽が激しい。
- ・ 親に隠しごとをする。
- ・ 金遣いがあらかなくなる。
（親の財布の金が抜かれている）
- ・ 友達からの長電話にていねいな語調で応答する。
- ・ 服が汚れている。体に傷がある。※傷の場所（目立たたところ）に注意
- ・ いたずらされ、物が壊される。
- ・ 外に出たがらない。
- ・ 親が学校と連絡をするのい嫌がる
- ・ 学校の様子を聞いても言いたがらない。

地域からの情報

自治会やPTA等の組織を活用して、子供の様子を知らせたり、早期発見のポイントを啓発したりする。

- ・ 公園で一人の子を何人かで囲んで言い合ったり、こづいたりしている。
- ・ スーパーや店でジュースやお菓子をおごらせている。
- ・ 登下校中で、一人の子が他の子の荷物を持たされている。
- ・ 道ばたや公園などで、一人ぼつんとしている。